

1. 相武台下駅



JR 相模線には木造駅舎が残っています。

2. 長松寺

応永3年(1396)の足利氏満による寄進状を保管しており、旧相模原市域ではもっとも古い文書です(非公開)。

3. 白山姫神社

旧新戸村の鎮守で享保8年(1723)の棟札が残されています。

4. 陣屋小路

徳川家康に仕え、新戸・磯部・当麻・大島などを治めた関東総奉行内藤清成の陣屋があったところです。その内藤家の供養墓は座間市の宗仲寺にあります。

5. さがみ野夢工房ふっくら

お祭りや人が集まる機会に必ず作られた酒まんじゅう作りの技術を次の世代に伝えることを願い、活動しています(土日のみ営業)。

6. 諏訪神社

座間市とのほぼ境にあり、信州の諏訪大社からの分霊と伝えます。

7. 新戸一里塚

府中道沿いにあり、元和3年(1617)に家康の棺を日光まで運ぶ際に築かれました。

8. 新戸公園

一段高い所にある細長い公園で、キャンプ座間に隣接しています。

9. 旧新磯高校

敷地内からは、縄文時代のほかに中世の集落跡も発掘されています。



10. 六字名号塔(武井橋)

「南無阿弥陀仏」の名号のほか、「一遍上人」と記され、当麻の無量光寺と関わるものです。

11. 山の神社

敷地の端にあり、いくつかの記念碑があります。

12. 日枝神社

下磯部の東講中によって祀られています。江戸期の記録には「山王権現」と記されています。

また、四ツ谷講中によって祀られている日枝神社もあります。

13. 薬師堂・不動尊

堂は毎月12日に開けられています。特に10月12日には本尊の薬師如来が開帳され、能徳寺の住職による読経が行われます。参拝者には上新粉で作った団子と護符が配られます。

薬師堂の前には大山不動の石仏も祀られています。

14. 御獄神社

下磯部地区のほぼ中央にあります。創建は明確ではありませんが下磯部集落の2つの日枝大神同様、慶応元年(1865)と明治30年(1897)に社殿の再建を行っています。

15. 天^{おおくすのき}橋 新磯小学校校庭



日露戦争等戦勝記念に校門の傍に植樹され、敷地拡張に伴い校庭の中になってしまいました(校庭内には入れません)。

16. 相模の大凧センター

複合施設で、大凧の展示のほか講習会なども行われています。

17. 常福寺

建長寺の末寺で、釈迦如来の本尊のほかに鎌倉仏師の作である地藏菩薩立像が祀られています(非公開)。境内に「神奈川名木100選」に選定されたタブノキの古木があり、地元では「しばの木」と呼ばれて親しまれています。

18. 日枝神社

旧新戸村の鎮守として集落のほぼ中央に位置しています。江戸時代には「山王社」と呼ばれていました。

19. 妙^{なうだん}糞橋

昔、この付近に妙糞という尼さんが住んでいました。付近には、鳩川に架けられた小さな橋が多くあります。

20. 掲示場跡

明治時代初めに政府の法令などを掲示した場所です。昭和になってもその名残りをとどめていたが、今は地面に柱の跡を印すのみです。